

## 人間は進化している？ それとも！

「進化」と「退化」…対義語（反対の意味を持つ言葉）だとばかり思っていました。

先日歯医者に行った時のこと、親知らずって結局役に立たないし、ちゃんと生えて来なかつたり、痛いだけだったり、と話していたら「最近は最初から歯の数が少ないお子さんも増えているんですよ」とのこと。

確かに最近は顎が小さく顔立ちもすっきりとして、美女・美男子が増えているよう…

この現象は、不要な歯が退化してなくなっている！という人類の進化になるそうです。

「進化」と「退化」は対義語ではないんですね。

でもでも、オマキザルは長い尾を持ち枝に巻き付けたりして身体を支えたりバランスをとったりしていますが、ニホンザルは尾がとても短くて普段の生活に役立っているように見えません。そしてゴリラやチンパンジーなどの類人猿と人間には尾が無くなっています。樹上の生活から地面に下りた生活へ、尾が退化してなくなっていくという進化の過程なのでしょうか。でも人間の尾はなくなってはいませんよね。

尾骶骨という名で骨は残っています。しかもニホンザルと同じ数で。

人間の体の一部（歯）が、進化の過程で退化してなくなってしまう、ってすごいことだと思いますか。 次に退化してなくなっていく器官は……何？



左から日本猿、オマキザル  
どちらもいわゆる「おサルさん」  
モンキー (Monkey) です。

左からチンパンジー、テナガザル  
他にはゴリラ、オランウータン  
などの類人猿は尾の骨が短く  
人と同じように「しっぽ」は  
ありません。  
モンキーではなくApe (エイプ)  
と呼ばれます。

